

ボランティアセンター だより

小中学生が福祉教育サポーター（ボランティア）から学ぶ「ふくしのこころ」

車イス体験

私のふだんの生活を
お話しします



相手のことを考えて
車イスを押そうね

車イス体験



サポーターを
つけて
負荷をかけます

高齢者体験



福祉教育サポーターとは
小・中学校等で
福祉学習や体験を
サポートする地域の
ボランティアさんです。

ガイドする人の
うでをもって
誘導してもらいます

視覚
障がい
体験



高齢者
体験



ひざ用サポーターを
つけますよ

視覚
障がい
体験

点字で先生の名前を
打ちますね



視覚
障がい
体験

声かけをしっかり
しましょう





子どもといっしょに楽しむ

私は、子どもたちと一緒に“わらかかしづくり”の手伝いボランティアとして参加しました。昨年まで町外に住んでいたため、それがまさか多くのボランティアのみなさんで作られたものとは思いませんでした。

わらをひとつひとつ丁寧に揃え、束ねる作業は、意外にもおもしろく、子どもたちも楽しみながら活動をしていました。また、お米を収穫後のわらが、このように一人一人の丁寧な作業により命が吹き込まれ、立派な“かかし”になることに感動も覚えました。“わらかかしづくり”の一員になれたことで、より親しみが湧き、一層“ど〜んとかがし祭”が楽しみになりました。子どもたちは、「楽しかった〜。早く(大仏を)見るのが楽しみ」と喜んでいました。この活動を通して、親子でできる素敵な取り組みだと感じ、より多くの人に広まればと思いました。



個人ボランティア 神野 亜沙子

ボランティアセンターは、平成26年10月に開設し、10年目を迎えました。今日まで、人と人のつながりを大切にしながら、「できる人が できるときに できること」を合言葉に一歩ずつ進んできました。その間、多くのボランティアさんが、さまざまなきっかけや思いから、私・私たちらしい活動に取り組んできました。

今回の特集は、そんなボランティアさん、ボランティア団体らしい活動のカタチをみなさんにお伝えします。

“ボランティア活動”のカタチ

趣味を活かして

私は、公民館の絵手紙講座に参加したきっかけで絵手紙をはじめ10年程が経ちました。たくさん描く中で、絵手紙を通して、季節を感じ、気持ちが少しでも明るくなればいいな〜という思いから、絵手紙を送るボランティア活動をはじめました。最初は、ドキドキしながらの活動でしたが、今は受け取った方から、うれしいです♪素敵な絵手紙に癒されますと言葉をいただくと私がとてもうれしく、元気をもらっています。これからも誰かの笑顔の思いながら、活動をしたいです。



個人ボランティア 行武 津知江

町のイベントを楽しむ

私は、以前から町のイベントや行事でのボランティア活動に参加していました。コロナ禍や仕事のため、ここ数年は参加できずにいました。今回は、久しぶりに「ど〜んとかがし祭」でサポート活動に参加しました。

活動では、人とのふれあいやたくさんの笑顔に出会い、「ただただ楽しい!」と思う2日間でした。そして、ボランティア活動は、人とのつながりを通して自分を元気にしてくれるなあ〜とあらためて感じました。特に、コロナ禍で制限がある期間は、自分にとって辛かったため、今回とても充実できました。



個人ボランティア 奥平 幸成

講座の“学び”から活動へ

私は、「自分にできることで社会の役に立つことは何か、今どんなことが必要とされているのかを知りたい。」と思ったのが、ボランティア講座に参加するきっかけでした。

その中で福祉とは、いつか関わるかもしれない分野ではなく、日常生活そのものだという新鮮な気づきがありました。

私のボランティアとしての活動はこれからですが、以前から、友人と音楽と朗読をコラボレートしたコンサートを開催していました。

この町で暮らす日常に、ちょっとした楽しみを加えたいという想いから始めたものです。

今後も、人との関わりの中でボランティア活動のヒントを見つけていきたいと考えています。

個人ボランティア 半田 美穂

イベントのお知らせ

ピアノとおはなしで楽しむコンサート vol.2

マッチ売りの少女

アンデルセンの名作を
ピアノの音色とともに

第1部

物語と音楽

訳文 大塚勇三

おはなし 古賀由香利

作曲 斎藤高順

ピアノ 原口美穂

第2部

ワークショップ【ピアノ演奏と読み聞かせ体験】

(定員：ピアノ3名 読み聞かせ7名)

あなたも、奏でて語ってみませんか
参加希望の方はご連絡ください
お待ちしております

2023年12月15日(金)

開場 18:00 / 開演 18:30

会場：めくばーる ホワイエ

入場無料

主催：ミュージックドア音楽教室 / いちご文庫

後援：筑前町社会福祉協議会

参加をお待ちしています♪

特集

私&私たちらしい

野良猫・地域猫の課題解決に向けて



私が、動物福祉ボランティア団体「筑前町しっぽお助け隊」に出会ったのは、保護犬を我が家に迎えた時からです。その後、野良猫の相談をするうちに、私にできることがあればという気持ちと、つながりがあると心強いという思いから加入しました。活動をする中で、犬猫に関する考えや思いが、人によって違いがあり悩むこともありましたが、それ以上に多くの人との出会いやつながりができ、大好きな犬猫の情報も共有できたので徐々に活動を楽しむようになりました。

今回私たちは、地域課題の「野良猫・地域猫講座」を10月29日に実施しました。講師は、北筑後保健福祉環境事務所の担当の方に依頼し、殺処分の現状、猫の特性、地域猫活動の進め方などを教えてもらいました。参加者は、33人とこれまで実施した中でも多く、関心の高さを感じました。参加者からは、野良猫に関する不安や悩み、不満の声や要望が多くありました。地域猫活動では、周囲への理解や、地域で協力し合うことの大切さがわかり、その一方で、不妊去勢手術代やエサ代などお金に関する負担が、関わる人やボランティアには大きいことが改めてわかりました。このような地域課題に対して、誰かに任せるのではなく、地域やボランティア、行政がお互いに協力できることを見つけ一緒に取り組むことが大切だと活動を通じて感じています。これからも筑前町に住む人も動物も幸せになることを目指し、楽しくボランティア活動を続けていきたいです。



筑前町しっぽお助け隊 黒田 美恵

福祉教育サポーター養成講座

9月7日(木)に、社協が小・中学校で推進している福祉教育のサポーターとして活動していただける人を対象に講座を実施しました。受講者は、福祉教育で大切なことや、サポーターの役割、町での取り組みなど福祉について深く学びました。



受講者の声

- ★福祉のことを「分野」としてとらえていましたが、私たちの生活そのものだと感じました。
- ★福祉教育の必要性を感じました。子どもたちに良い経験をしてもらいたいです。

笑顔deつながる♪小物づくり講座

10月13日(金)に、ボランティア団体「野いちごの会」を講師として迎え、来年の干支「辰」のキーホルダーを作りました。自分の好きなことや趣味を楽しみ、誰かと一緒に、誰かのためにという思いから、ボランティア活動や地域活動(居場所づくり)につながることを目的に実施をしています。

参加したみなさんは、野いちごの会のメンバーから丁寧に指導を受け、細かい作業に集中して、作品を作り上げていました。



外出サポーターボランティア講座

10月26日(木)に、視覚に障がいのある人や車いすを利用している人が、安心・安全に外出するためにできるサポーターを学ぶことを目的に実施しました。

講師は、視覚障がいの深町恵美子さん(筑前町視覚障害者の会)と車いすユーザーの林賢治さん(個人ボランティア)を迎えました。それぞれの生活や趣味、外出時の移動の話を聴き、私たちにできるサポートを、実践形式で体験しました。体験では、気づきや、知っておくと役立つことなど多くの学びを得られていたようです。



受講者の声

- ★実際に体験したことによって、車いす・視覚障がいに対する対応がよくわかりました。

筑前町ボランティアセンター

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373
コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555 FAX:0946-42-5941

(ボランティアコーディネーター 林)

ホームページアドレス <http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/vc/>
メールアドレス chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

